

CFD_SSD 簡単導入 kit

version 1.1.0

目次

序章. SSD の導入方法.....	3
1. 引越しに必要な SSD の容量を調べましょう.....	4
2. 引越し方法を決めます.....	5
2.1. 選択.....	7
3. SSD に実際に引越しする.....	8
4. Windows の設定を SSD 用にする.....	8

序章. SSD の導入方法

SSD の導入方法は2つあります。

■OS のクリーンインストールによる方法



一番無難なトラブル少ない方法です



アプリの入れなおし、電子メールの移行など面倒くさい

■システムディスクの引越しによる方法



アプリ、メールの移行の手間は不要で便利簡単



ごく稀にハードウェアの相性問題が起きる

本書はシステムディスクの引越しによる方法を初心者向けに解説します。

もしハードウェアの相性問題が出る場合はクリーンインストールによる導入をしてください。

1. 引越しに必要な SSD の容量を調べましょう



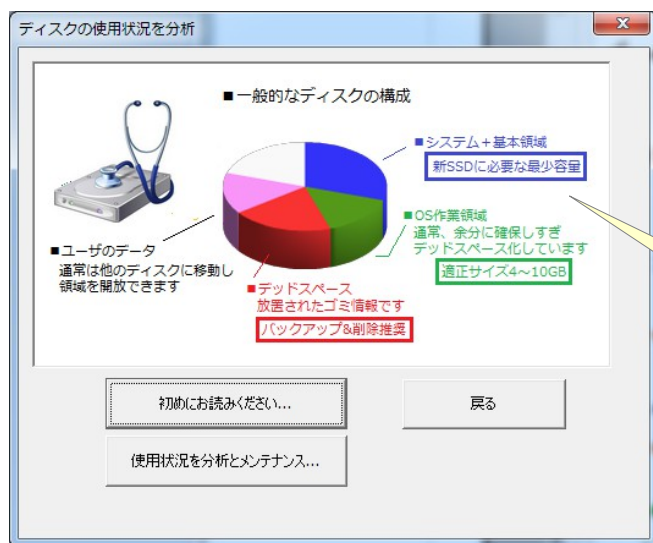
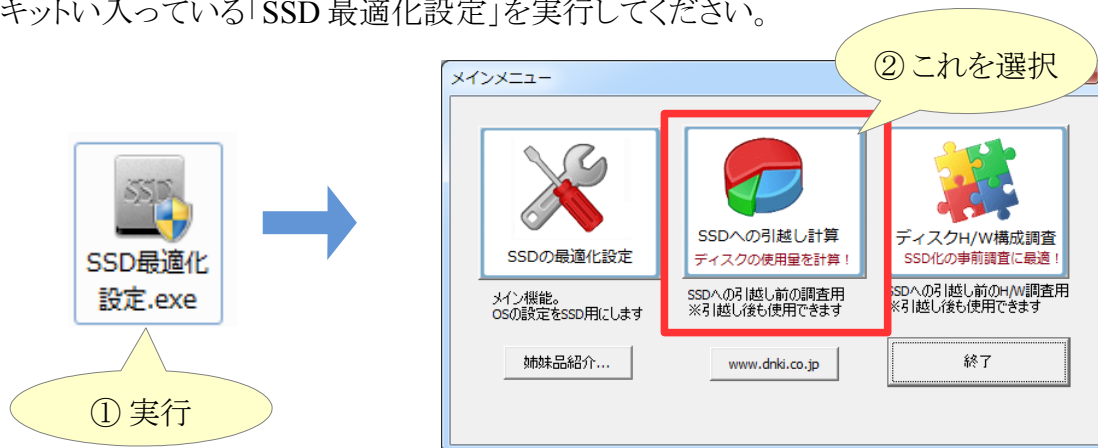
SSD の導入にあたり、購入する SSD の容量を決めます。

SSD は高価です。現在使用しているハードディスクを丸ごと SSD に入れようとお金がかかります。

本当に必要な量を計算し最適な容量の SSD を購入しましょう。

ここでは必要な容量の算出方法を説明します。

本キットに入っている「SSD 最適化設定」を実行してください。



するとこのようにディスク使用状況を分析する画面が出ます。
この機能に従い自分に最適な SSD の容量を確認してください。

③ プログラムのアシストに従うだけで算出できます

2. 引越し方法を決めます

システムディスクの引越し方法は大きく分けて3つの方法があります。

① OS の標準機能 VSS(Volume Shadow Copy Service)を利用したソフトで引越しする方法

複製ソフトは有料／フリーウェア／SSD 付属と存在します。個別に入手ください



○ 操作が簡単で初心者向け

✗ コンディションが悪く VSS が機能停止・動かない Windows では動かない



弊社販売の SSD「HG6Q シリーズ」には標準で VSS を使用した引越しソフトが付属します。本ソフトにはアライメント自動調整機能付きです。アライメントは後述します。

② デュプリケータ(複製装置)による方法

2つのディスクを接続し、忠実な複製を作る方法です。

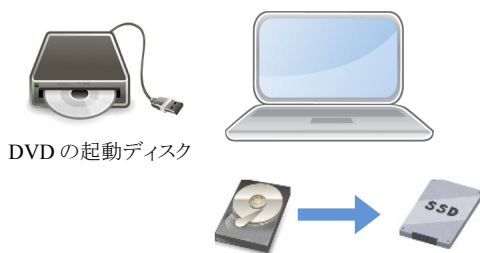


○ 操作が簡単で初心者向け

✗ 大きいディスクから小さいディスクへの複製ができない 後述するアライメントが起きるディスクには不向き

③ OS の入った USB/DVD でパソコンを起動する方法

複製ソフトは有料／フリーウェア／SSD 付属と存在します。個別に入手ください。



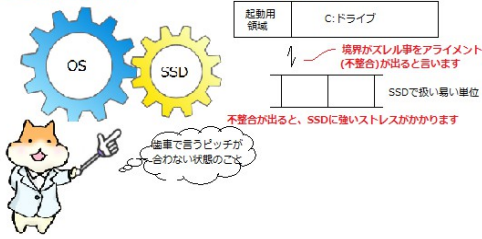
○ 高機能・万能

✗ 機能過多で操作が煩雑になる傾向がある 中級・上級者向け

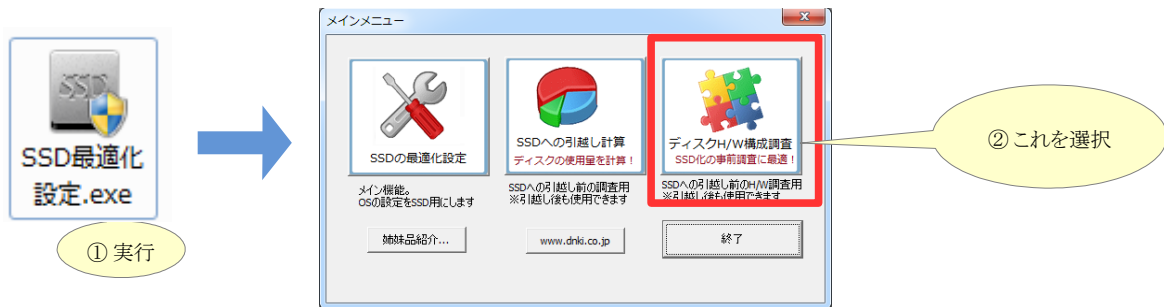
■アライメント(不整合)

ここではアライメントの有無の調べ方を紹介します。

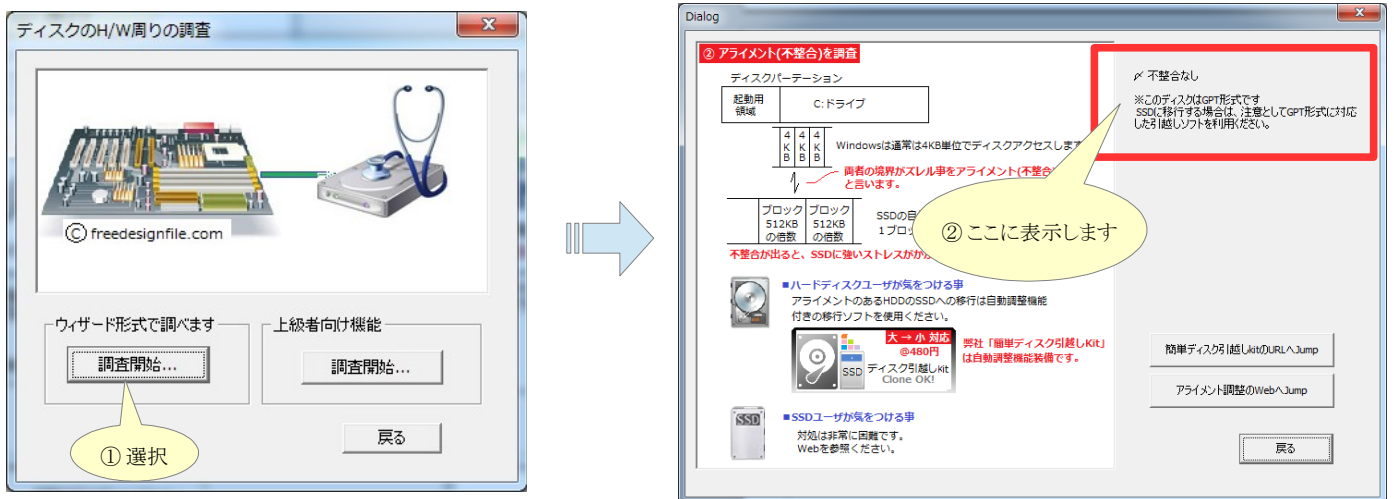
アライメント(不整合)を調査



アライメントとは不整合という意味で歯がかみ合っていない状態を指します。Windowsはディスク装置を4KB単位でアクセスします。ディスクのパーティションの境界が4KBで割り切れないと発生します。SSD最適化設定を起動してください。



すると次の画面が出ます。



①のボタンを押すとウィザード画面が出ます。2枚目のガイド画面で不整合の有無を表示します。

✖ 不整合が出る時



デュプリケータによる複製は避けましょう。

デュプリケータはパーティション情報を正確に複製します。

従いアライメント問題が表面化します。

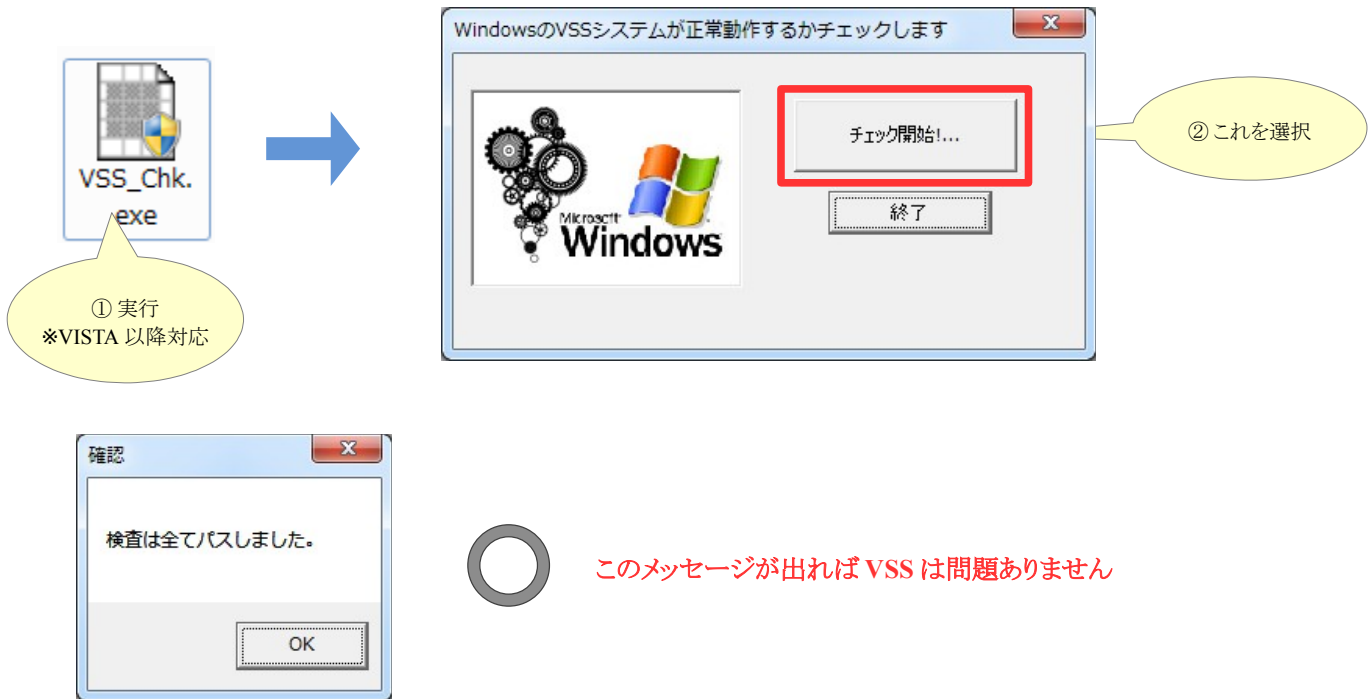
アライメントが発生するとSSDの速度が半減し寿命が縮みます。

■VSS の動作確認

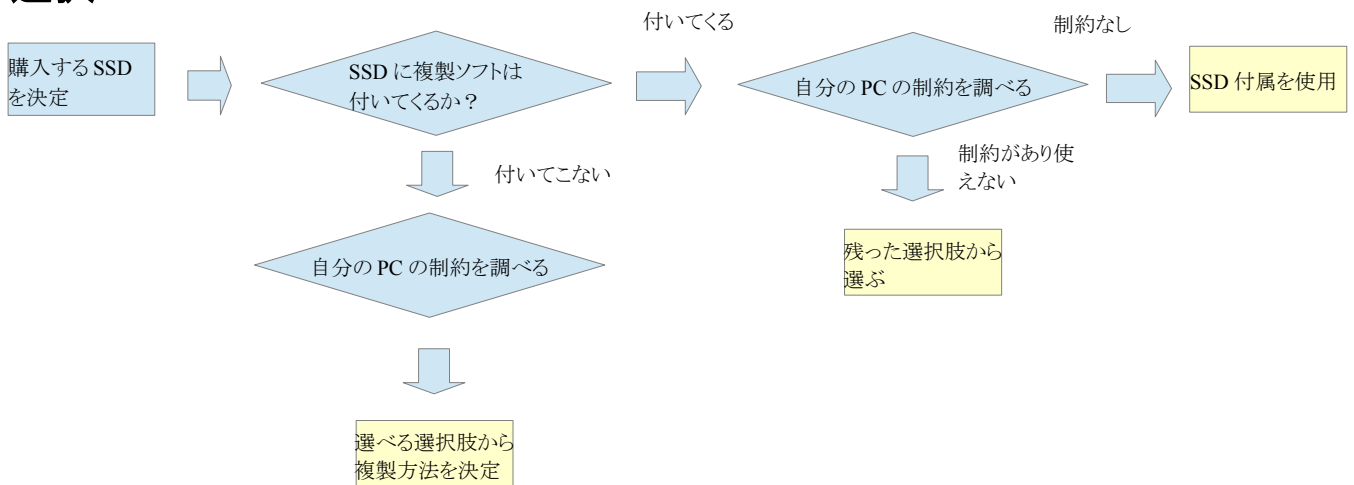
VSS(Volume Shadow Copy Service)は稀に機能停止している事があります。

VSS が使用できない時は OS をメンテナンスするか別の方法を採用ください。

VSS は次の手順で動作を確認できます。



2.1. 選択



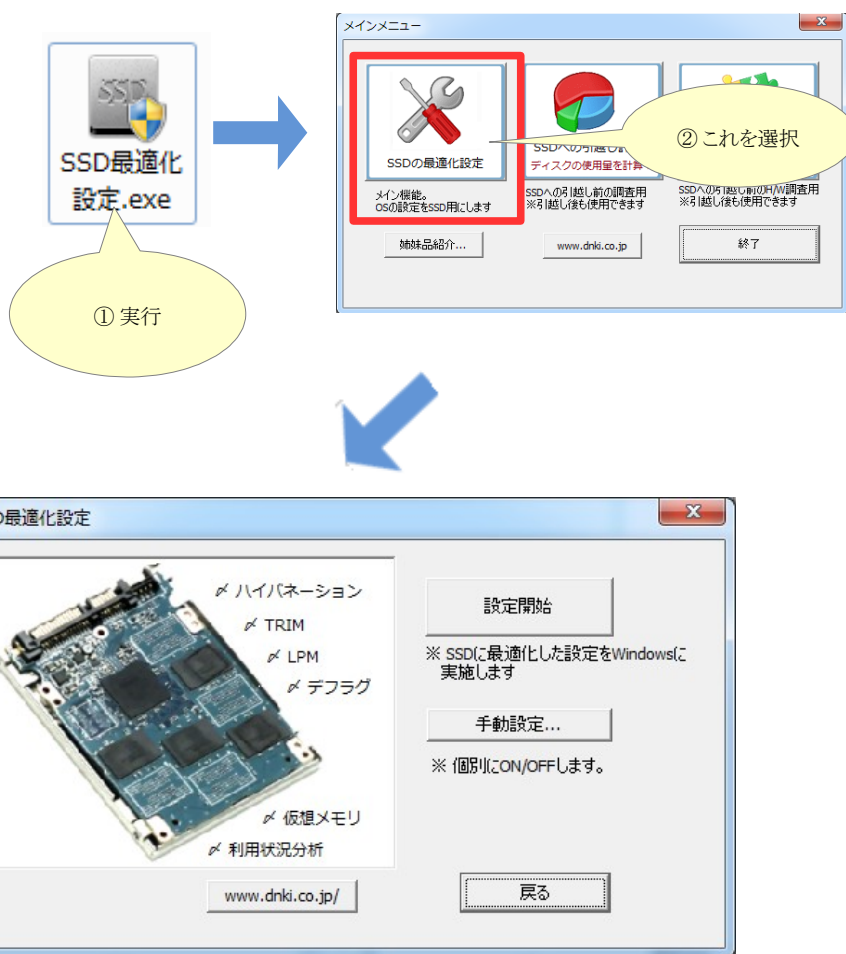
3. SSD に実際に引越しする



- ① 新しいディスクにC:ドライブの情報を引越し(コピー) ②ディスクを交換！ ③PCの電源を入れて引越し完了

デュプリケータを使う場合を除き、引越しは通常はこの図の流れをとります。

4. Windows の設定を SSD 用にする



これで SSD の導入は完了です。

配布者:CFD販売株式会社

著者: (C)2015, 有限会社電機本舗

無断複製を禁じる